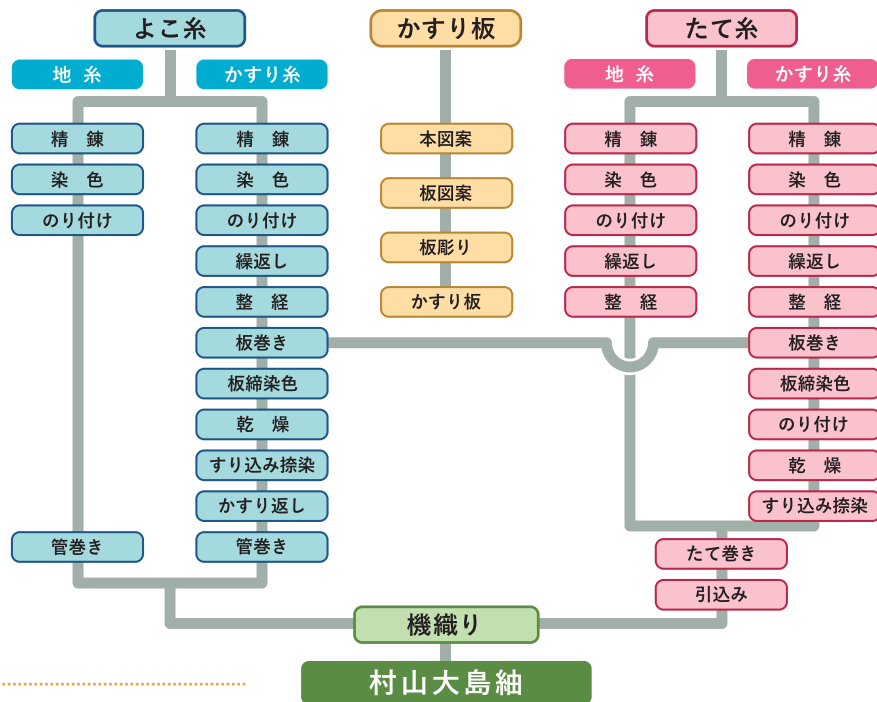


# 3 村山大島紬ができるまで

## 村山大島紬の製作工程図

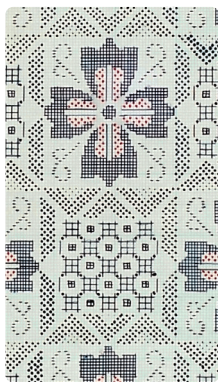
製作工程は40にもなり、専門的な職人が分担して仕事を行いました。ここでは、主な製作工程を紹介します。



## かすりいた 拵板を作る

村山大島紬の特色の一つは、拵板を使用して拵糸を染める板締染色の工程にあります。この技術は、大正時代に群馬県の伊勢崎地方から取り入れられ、村山大島紬の生産に合うように改良されてきました。拵板を製作する職人の中には、伊勢崎地方から移り住んできた人もいました。

拵板は、板屋と呼ばれる職人の工場で作られました。板屋では、織りたい布地の柄を方眼紙に書き込んだ図案(板図案)をもとに、ミズメザクラやカエデの板に溝を彫ります。たて糸を巻くためのたて板と、よこ糸を巻くためのよこ板を作りますが、柄によっては100枚をこえる板が必要になります。



① 板図案



② 図案をもとに線を引く



③ 拵板に溝を彫る



④ 組みあがった拵板